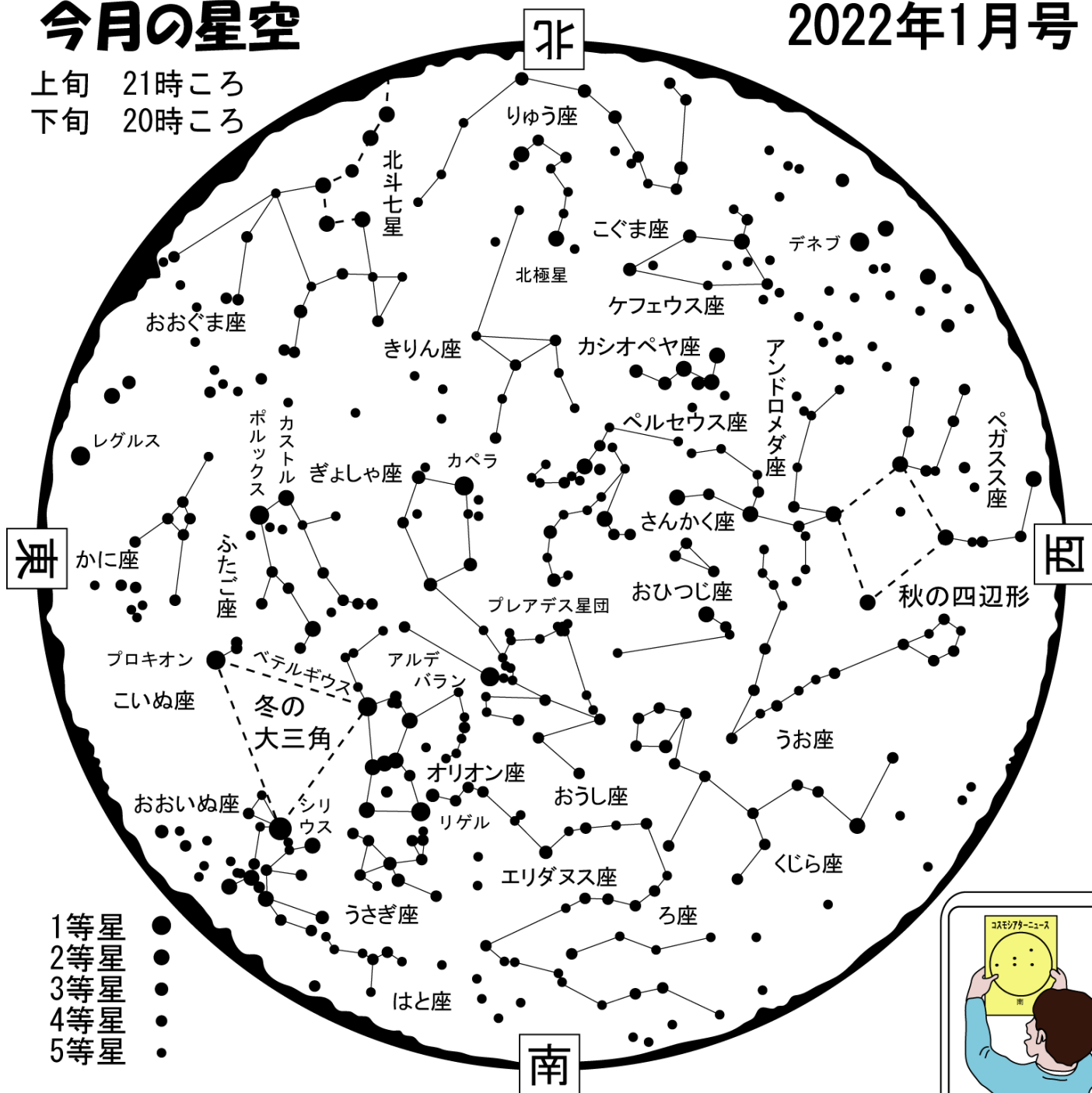


# コスモシアターニュース

## 今月の星空

2022年1月号

上旬 21時ころ  
下旬 20時ころ



自分の向いている方向を下にして、見てください

水星：中旬までの夕方、南西のたいへん低い空に見えます。明るさは0等星で、4日に月と並んで輝きます。

金星：月末の明け方、南東の低い空に見えます。明るさは-4.5等星です。月末に月と並んで輝きます。

火星：明け方、南東の低い空に見えます。明るさは1.5等星です。

木星：夕方、南西の低い空に見えます。明るさは-2等星です。6日に月と並んで輝きます。

土星：中旬までの夕方、南西のたいへん低い空に見えます。明るさは0.5等星です。5日に月と並んで輝きます。

### 今月の月の満ち欠け

新月：3日(月)    上弦：10日(月)    満月：18日(火)    下弦：25日(火)

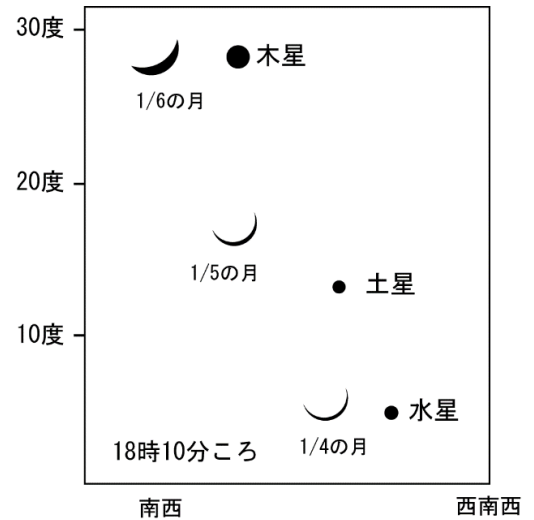
## 4日(火)、明け方、りゅう座(しぶんぎ座)流星群が極大

りゅう座流星群は、りゅう座の方向から全天に流れていきます(※昔は、ここにしぶんぎ座があったので、しぶんぎ座流星群とも呼ばれます。)。りゅう座流星群の極大は、4日(火)の明け方です。このため、多く見られるのは、3日の深夜から4日の明け方となります。今年は月明りがなく、たいへんいい条件です。実際に見られる数は、松山市内で、4日の未明から明け方ころ、1時間あたり10個以上になるでしょう。なお、郊外に出かけると、1時間当たり30個くらい見られるかもしれません。観察する時は、星を目印にするよりも、おおまかに北東の空を見ればよいでしょう。

### 4日(火)~6日(木)、南西の空で、月と惑星が並んで輝く

4日(火)の18時すぎ、月と水星が並んで輝きます。高さが低いので、肉眼で見にくいかもしれませんが。翌日の5日(水)、月と土星が並びます。高さが高くなり見やすくなります。そして、6日(木)の月と木星の接近は、一番目立ち、美しい眺めとなります。惑星の明るさは、木星が一番明るく、水星がその次に明るく輝き、そして、土星となります。

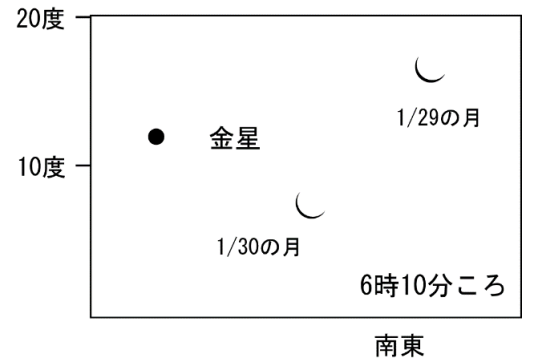
水星は土星より明るく見やすそうですが、高さが低いので、土星より暗く見えるかもしれません。また、夕焼けで空が明るいので、5倍程度の小型の双眼鏡を使うと見やすくなります。南西方向に障害物がないところで、18時すぎに探してみてください。



### 30日(日)、明け方、南東の空で、月と金星並んで輝く

30日(日)の明け方、午前6時すぎ、南東の低い空に金星が見えています。この金星のすぐ、右下に細い月が輝き、大変美しい眺めとなります。なお前日の29日(土)の明け方も、月が右へ少し離れていますが、近づいた状況で見えるでしょう。

月と金星の姿は、肉眼で見ることができます。気軽に楽しむことができます。また、双眼鏡があればより詳しく見ることができます。

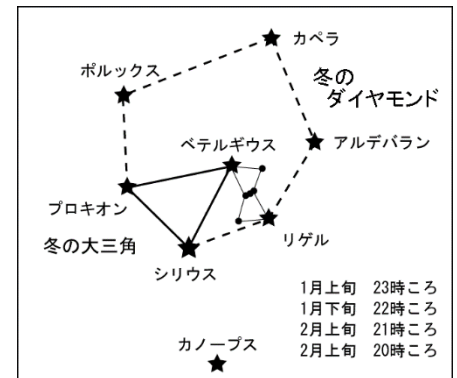


### ★冬の明るい星を見よう

冬の夜空は、右のように冬の三角や冬のダイヤモンドといった分かりやすい星の並びがあります。これらの中で、最も明るいのはシリウスです。プロキオンも明るく、冬の三角は大変目立つ存在となるはずですが。ただ、20時ころではまだ高さが低く、南の空高く見えるのは、夜遅くになります。

冬のダイヤモンドは冬の六角とも呼ばれ、大変大きく広がっています。また、カペラは頭の真上を越してやや北の空よりに、ポルックスはほぼ頭の真上になります。

右の図は、南の空を眺めたときの星空で、上が北、右が西、左が東となっています。



### ★冬の明るい星の名前

冬の明るい星は、古くから注目され、日本でも特別な名前をつけて読んでいました。ぜひ明るさ比べとともに、色の違いなども観察してください

星の名前	星の色	明るさ	星座	日本での固有名 呼び方の理由
シリウス	青白	-1.46 等星	おおいぬ	青星 (あおぼし) 青く見えるため
カノープス	白	-0.72 等星	りゅうこつ	おうちゃくぼし 少ししか空に見えないので
カペラ	黄色	0.08 等星	ぎよしゃ	虹星 (にじぼし) 低い時にいろいろな色に見えるため
リゲル	青白	0.12 等星	オリオン	源氏星 (げんじぼし) 源氏の白旗の色に見えるため
プロキオン	白	0.38 等星	こいぬ	いろしろ ずばり、白く見えるため
ベテルギウス	赤色	0.5 等(変)	オリオン	平家星 (へいけぼし) 平家の赤旗の色に見えるため
アルデバラン	オレンジ	0.85 等星	おうし	すばるのあと星 すばるのあとに昇ってくるため
ポルックス	オレンジ	1.14 等星	ふたご	金星 (きんぼし) 金色に輝いて見えるため
カストル	白	1.58 等星	ふたご	銀星 (ぎんぼし) 銀色に輝いて見えるため

※明るさは、数が少ないほど明るくなります。また、ベテルギウスの明るさの(変)は、明るさが変わる変光星(へんこうせい)という意味です。カノープスは、高度が低く、大気の影響で赤く、暗く見えます。